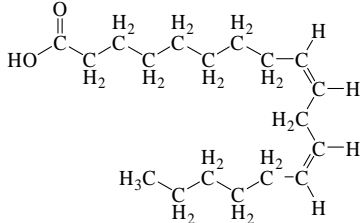
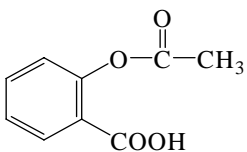
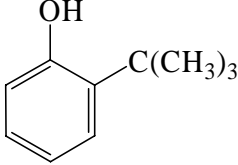
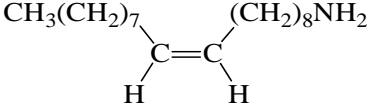
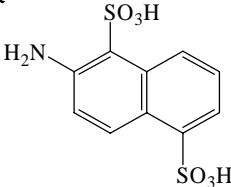
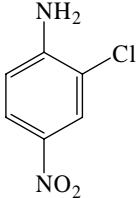
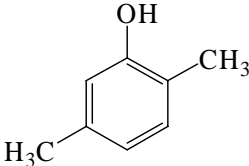
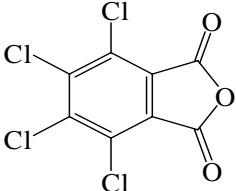
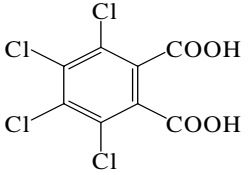
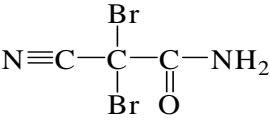
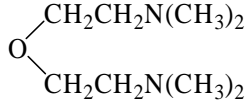
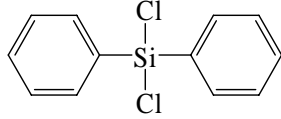
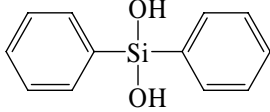
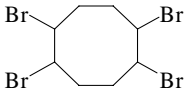
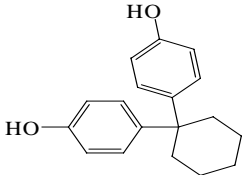
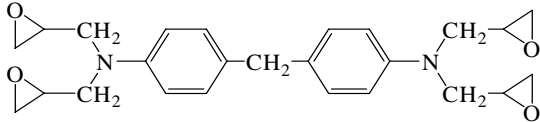
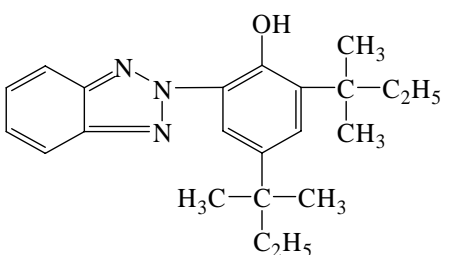


K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1258E	1-ペンタノール (71-41-0) 2-0217  <chem>CH3(CH2)4OH</chem>	BOD : 87, 95, 94 (92) TOC : 100, 98, 99 (99) G C : 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	1
1779	(Z,Z)-9,12-オクタデカジエン酸 (60-33-3) 2-0609  	BOD : 84, 79, 78 (80) G C : 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	3
1780	N-メチルアミノ酢酸ナトリウム (4316-73-8) 2-1206  <chem>CCNC(=O)[O-].[Na+]</chem>	BOD : 83, 64, 69 (72) *1 TOC : 97, 84, 86 (89) HPLC: 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	5
1783	2-ブテン-1,4-ジオール (110-64-5) 9-1161  <chem>HO-CH2-CH=CH-CH2-OH</chem>	BOD : 65, 55, 52 (57) TOC : 85, 84, 71 (80) G C : 86, 84, 71 (80) 逆転条件 (参考データ) TOC : 98, 97, 100 (99) G C : 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	7
1784	o-アセトキシ安息香酸 (50-78-2) 3-1652  	BOD : 88, 83, 88 (86) TOC : 99, 99, 94 (98) HPLC: 100, 100, 100(100)	—	—	良分解性	なし	9

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
81C	<i>o</i> -tert-ブチルフェノール (88-18-6) 3-0503 	BOD : -3, -4, -4 (0) *2 TOC : 35, 40, 25 (33) HPLC: 32, 39, 23 (31)	3.74*4 (pH4.0)  3.42*3		難分解性	濃縮度試験	11
762D	(Z)-9-オクタデセン-1-アミン (112-90-3) 2-0133 	BOD : -3, -5, -5 (0) *2 G C : 7, 3, 7 (6)	7.50*3		難分解性	濃縮度試験	13
1782	2-アミノ-1,5-ナフタレンジスルホン酸 (117-62-4) 4-0501 	BOD : -1, 4, -1 (1) TOC : 2, 8, 5 (5) HPLC: -1, -1, -1 (0)	-1.85*3		難分解性	濃縮度試験	15
246B	2-クロロ-4-ニトロアニリン (121-87-9) 3-0407 	BOD : -4, -5, -3 (0) *2 TOC : 4, 3, 3 (3) HPLC: 1, 0, 1 (1) *2	1.9 (pH8.0) (HPLC法)  2.12*3	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性で はない	なし	17
1227D	2,5-キシレノール (95-87-4) 3-0521 	審議済 (難分解性) (平成17年11月18日) BOD : 0, -1, 0 (0) TOC : 2, 3, 1 (2) HPLC: 3, 2, 1 (2)	2.6 (pH3.0) (HPLC法)  2.62*3	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	20
1476	四塩化無水フタル酸 (117-08-8) 3-1423 	審議済 (難分解性) (平成14年3月22日) BOD : 0, 0, 0 (0) TOC : 0, 0, 1 (0) HPLC: 100, 100, 100(100) 被験物質は変化して、3,4,5,6-テ トラクロロフタル酸を生成し、残 留した。	4.65*3	テトラクロロフタル酸から類 推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	23

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1476変	テトラクロロフタル酸 (632-58-6) 3-0062 	-	3.2 (pH1.0) (HPLC法)  3.65 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	高濃縮性ではない	なし	25
1587	2-シアノ-2,2-ジブromoアセトアミド (10222-01-2) 2-2795 	審議済(難分解性) (平成14年1月29日) BOD: 0, 0, 0 (0) TOC: 20, 14, 10 (15) HPLC: 100, 100, 100(100) 被験物質は試験液中で消失し、臭化物イオンが20~2%、アンモニア態窒素が50~53%生成し、残留した。 変化物(LC-MSによる推定)として、2-ブromopropanアミド、2,2-ジブromopropanアミド、2-ブromo-2-シアノアセトアミド及び2,2-ジブromoアセトアミドが生成し、残留した。	0.5 (pH7.0) (HPLC法)  1.01 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	28
1628	ビス(2-ジメチルアミノエチル)エーテル (3033-62-3) 2-0390 	BOD: 0, 0, 0 (0) TOC: 2, 3, 4 (3) LC-MS: 6, 7, 0 (4)	1.1 (pH11.0) (HPLC法)  -0.54 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性ではない	なし	31
1640	ジクロロジフェニルシラン (80-10-4) 3-2634 	審議済(難分解性) (平成17年9月30日) BOD: 0, -1, 0 (0) GC: 100, 100, 100(100) 被験物質は試験液中で加水分解し、ジフェニルシランジオール(3-2638, logkow=2.03)を99~107%生成し、残留した。	5.06 <sup>*3</sup>	ジフェニルシランジオールからの類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	34

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1640変	ジフェニルシランジオール (947-42-2) 3-2638 	—	2.0 (HPLC法) 2.03 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	高濃縮性ではない	なし	36
1715	1, 2, 5, 6-テトラブロモシクロオクタン (3194-57-8) 3-2254 	審議済 (難分解性) (平成17年9月30日) BOD : -16, 2, -10 (1) <sup>*2</sup> G C : 1, 0, 1 (1)	5.24 <sup>*3</sup>	ピーク1 定常状態における濃縮倍率 1区: 3900倍 2区: 2600倍 ピーク2 定常状態における濃縮倍率 1区: 4700倍 2区: 2800倍 脂質含有率 開始前: 5.07% 終了後: 5.09%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	39
1754	1, 4-ジクロロブタン (110-56-5) 2-0061 $\text{Cl}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Cl}$	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : 7, 12, 3 (7) G C : -1, 0, -1 (0) <sup>*2</sup>	2.5 (HPLC法) 2.81 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	42
1755	1, 1-ビス (4-ヒドロキシフェニル) -シクロヘキサン (843-55-0) 4-0044 	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : -1, 0, -2 (0) <sup>*2</sup> HPLC: 1, 1, 3 (2)	5.00 <sup>*3</sup>	定常状態における濃縮倍率 1区: 29倍 ばく露期間における濃縮倍率 2区: <32~42倍 脂質含有率 開始前: 5.4% 終了後: 5.1%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	45
1757	N, N, N', N'-テトラグリシジル-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン (28768-32-3) 4-0112 	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : -8, -10, -10 (0) <sup>*2</sup> HPLC: 73, 68, 59 (66)	3.0 (pH7.0) (HPLC法) 2.53 <sup>*3</sup>	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	48

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1766	<p>2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ペンチルフェノール (25973-55-1) 5-3604</p> 	<p>審議済 (難分解性) (平成17年11月18日) 試験結果については、企業提供 データのため非公開</p>	7.25*3	<p>試験結果については、企業提供 データのため非公開 判定結果 保留;第3濃度試験指示 (H17年 11月 18日)</p> <p>(第3濃度区試験) 定常状態における濃縮倍率 3区(0.01 μg/L) : 2400倍 脂質含有率 開始前:2.38% 終了後:4.14% (再試験) 定常状態における濃縮倍率 1区(0.1 μg/L) : 940倍 ばく露期間における濃縮倍率 2区(0.01 μg/L) : 620~1800 倍 脂質含有率 開始前:3.75% 終了後:4.62%</p>	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	51

- \*1 BODは窒素の残留形態を亜硝酸として算出した。
- \*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。
- \*3 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値
- \*4 フラスコ振とう法による予備値

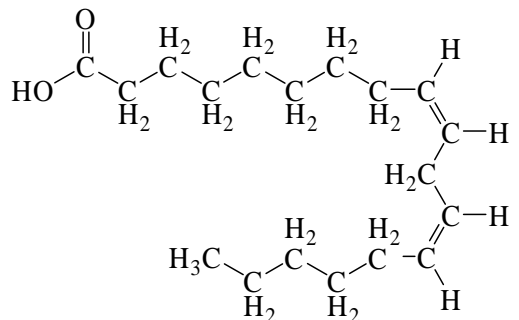
整理番号 K-1258E (NEDO 352, 2-0217)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
1-ペンタノール (71-41-0)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 18. 8. 28~18. 11. 28	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{OH}$  分子式 $\text{C}_5\text{H}_{12}\text{O}$ 分子量 88.15	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 直接	BOD 87, 95, 94 (92)%  TOC 100, 98, 99 (99)% GC 100, 100, 100 (100)%	試験結果 間接 直接
純度*1 99.6%	外観 無色透明液体		
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.4%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 22g/L (25°C)*2	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 -79°C		判定	判定
沸点*1 137.5°C	1-オクタノール/水分配係数	備考	備考
比重*1 $d_4^{20}$ 0.815		1. 回収率 (水+被験物質)系 98% (汚泥+被験物質)系 95%	
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*3 合成樹脂、添加剤 (樹脂用) 等		2. 実施機関 ・ 広栄テクノ株式会社	
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 10万~100万t未滿			
試料 購入先 和光ケミカル			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

\*1 和光ケミカル添付資料による。 \*2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。

\*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K - 1 2 5 8 E の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
1 - ペンタノール (71-41-0)	CH <sub>3</sub> (CH <sub>2</sub> ) <sub>4</sub> OH	2-0217 (K-1258E)	標準(4W) 2006年実施 BOD 87, 95, 94 (92) TOC 100, 98, 99 (99) G C 100, 100, 100(100)					
1 - オクタノール (111-87-5)	CH <sub>3</sub> (CH <sub>2</sub> ) <sub>7</sub> OH	2-0217 (K-1258C)	標準(4W) 2002年実施 BOD 89, 90, 88 (89) TOC 99, 99, 99 (99) G C 100, 100, 100(100)	良分解性 (2002)				
2 - オクタノール (123-96-6)	$\begin{array}{c} \text{OH} \\   \\ \text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{CH}_2\text{CHCH}_3 \end{array}$	2-0217 (K-1258B)	標準(2W) 1999年実施 BOD 75, 76, 77 (76) TOC 96, 95, 96 (96) G C 100, 100, 100(100)	良分解性 (1999)				
トリデシルアルコール (112-70-9)	CH <sub>3</sub> (CH <sub>2</sub> ) <sub>12</sub> OH	2-0217 (K-347)	標準(2W) 1978年実施 BOD 77, 123 (100) G C 100, 100 (100)	良分解性 (1978)				
1 - ヘキサデカノール (36653-82-4)	CH <sub>3</sub> (CH <sub>2</sub> ) <sub>15</sub> OH	2-0217 (K-1258D)	標準(4W) 2001年実施 BOD 73, 94, 92 (86) G C 86, 100, 100 (95)	良分解性 (2001)				
1 - ヘキサコサノール (506-52-5)	CH <sub>3</sub> (CH <sub>2</sub> ) <sub>24</sub> CH <sub>2</sub> OH	2-0217 (K-537)	標準(4W) 1982年実施 BOD 72, 76, 76 (75) G C 96, 97, 97 (97)	良分解性 (1982)				

整理番号 K-1779 (NEDO 346, 2-0609)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																				
(Z, Z)-9, 12-オクタデカジエン酸 (60-33-3)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日																				
	試験期間 18. 9. 19~18. 11. 24	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																				
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮																				
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C <sub>18</sub> H <sub>32</sub> O <sub>2</sub> 分子量 280.45	試験濃度	試験濃度	試験濃度																				
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																				
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																				
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																				
	試験結果 間接 BOD 84, 79, 78 (80)% 直接 GC 100, 100, 100(100)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接																				
純度*1 99.8%	外観 淡黄色透明液体																						
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.2%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 2 mg/L 以下(25℃)	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																				
融点*2 -12℃		判定	判定																				
沸点*2 230℃(16mmHg)	1-オクタノール/水分配係数	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 97% (汚泥+被験物質)系 94% 2. 実施機関 ・株式会社 JCL バイオアッセイ 3. 特記事項 ・(汚泥+被験物質)系の GC クロマトグラム上には変化物ピークは認められなかった。																					
比重*2 d <sub>4</sub> <sup>22</sup> 0.9007																							
LD50	安定性																						
IRチャートの有無 (有) ・ 無																							
用途*3 繊維用添加剤等																							
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満		・(水+被験物質)系において GC 分析で被験物質は消失し、変化物ピークが 13 本検出され、その内の 7 本は被験物質より炭素鎖の短い飽和脂肪酸 (C <sub>4</sub> , C <sub>6</sub> , C <sub>7</sub> , C <sub>8</sub> , C <sub>10</sub> , C <sub>12</sub> , C <sub>16</sub> ) の標品の保持時間と一致した。また、各ピークの検出率は 1%未満であった。試験液の前処理において、減圧乾固を行っていることから炭素数の小さい脂肪酸は揮発し、物質収支はとれないと考えられる。 ・28日後の DOC 検出結果																					
試料 購入先 和光純薬工業		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(水+被験物質)系</th> <th colspan="3">(汚泥+被験物質)系</th> <th>理論量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>量(mgC)</td> <td>12.4</td> <td>1.0</td> <td>0.9</td> <td>1.2</td> <td>23.1</td> </tr> <tr> <td>率(%)</td> <td>53</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系			理論量	量(mgC)	12.4	1.0	0.9	1.2	23.1	率(%)	53	4	4	5	-
	(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系			理論量																		
量(mgC)	12.4	1.0	0.9	1.2	23.1																		
率(%)	53	4	4	5	-																		
経済産業公報発表年月日 年 月 日																							

\*1 和光純薬工業添付資料による。

\*2 The Merck Index(13th edition)による。

\*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。



K-1779の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
22-トリコセン酸 (65119-95-1)	$\text{CH}_2=\text{CH}(\text{CH}_2)_{20}\text{COOH}$	2-0609 (K-1094)	標準(4W) 1994年実施 BOD 96, 91, 91 (93) G C 100, 100, 100(100)	良分解性 (1994)				
オレイン酸 (112-80-1)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_7\text{CH}=\text{CH}(\text{CH}_2)_7\text{COOH}$	2-0975 (K-1113)	標準(4W) 1993年実施 BOD 90, 72, 72 (78) G C 100, 100, 100(100)	良分解性 (1993)				
(Z, Z)-9, 12- オクタデカジエン酸 (60-33-3)		2-0609 (K-1779)	標準(4W) 2006年実施 BOD 84, 79, 78 (80) G C 100, 100, 100(100)					

整理番号 K-1780 (NEDO 347, 2-1206)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																		
N-メチルアミノ酢酸ナトリウム (4316-73-8)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日																		
	試験期間 18.11.20~19.2.23	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																		
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮																		
構造式(示性式)・物理化学的性状  $\begin{array}{c} \text{ONa} \\   \\ \text{O}=\text{C} \\   \\ \text{CH}_2-\text{NHCH}_3 \end{array}$ 分子式 C <sub>3</sub> H <sub>6</sub> NNaO <sub>2</sub> 分子量 111.08	試験濃度	試験濃度	試験濃度																		
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																		
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																		
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																		
	試験結果 間接 BOD 83, 64, 69 (72)% 直接 TOC 97, 84, 86 (89)% HPLC 100, 100, 100(100)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接																		
純度*1 43.1%(ケルダール法)      外観 薄い黄色の液体 (供試試料として)	審査部会 第66回 19年7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																		
不純物*1 (物質名, 含有率) 水 56.9%	溶解度(対水, その他) 対水 100 g/L以上*2	判定	判定																		
融点 測定不可	1-オクタノール/水分配係数	備考	備考																		
沸点 測定不可	安定性	1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%  ※試験液を直接分析機器に導入。  2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	3. 特記事項 ・窒素三態(アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素)の分析を実施した。その結果、(汚泥+被験物質)系の平均生成率はアンモニア態窒素が40%、亜硝酸態窒素が40%、硝酸態窒素が1%であった。  ・TODは窒素の残留形態を亜硝酸として算出した。																		
密度 測定不可				・窒素三態別のBOD分解度(%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NH<sub>3</sub></td> <td>131</td> <td>102</td> <td>110</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>NO<sub>2</sub></td> <td>83</td> <td>64</td> <td>69</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>NO<sub>3</sub></td> <td>75</td> <td>58</td> <td>63</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>		1	2	3	平均	NH <sub>3</sub>	131	102	110	114	NO <sub>2</sub>	83	64	69	72	NO <sub>3</sub>	75
	1	2	3	平均																	
NH <sub>3</sub>	131	102	110	114																	
NO <sub>2</sub>	83	64	69	72																	
NO <sub>3</sub>	75	58	63	65																	
LD50	IRチャートの有無 (有)・無	経済産業公報発表年月日      年 月 日																			
用途*3 洗剤等																					
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t未滿																					
試料 購入先 東京化成工業																					

\*1 東京化成工業添付資料による。

\*2 供試試料の成分組成より。

\*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-1780の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
アミノ酢酸 (56-40-6)	$\begin{array}{c} \text{OH} \\   \\ \text{O}=\text{C} \\   \\ \text{CH}_2-\text{NH}_2 \end{array}$	9-0077 (K-1163)	標準(2W) 1993年実施 BOD 76, 78, 82 (79) TOC 96, 99, 100 (98) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1993)				
N-メチルアミノ 酢酸ナトリウム (4316-73-8)	$\begin{array}{c} \text{ONa} \\   \\ \text{O}=\text{C} \\   \\ \text{CH}_2-\text{NHCH}_3 \end{array}$	2-1206 (K-1780)	標準(4W) 2007年実施 BOD 83, 64, 69 (72)* TOC 97, 84, 86 (89) HPLC 100, 100, 100 (100)					

\* TOD は窒素の残留形態を亜硝酸として算出した。

整理番号 K-1783 (NEDO 355, 9-1161)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																			
2-ブテン-1, 4-ジオール (110-64-5)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日																			
	試験期間 18. 9. 4~19. 2. 6	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																			
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮																			
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  HO-CH <sub>2</sub> -CH=CH-CH <sub>2</sub> -OH  分子式 C <sub>4</sub> H <sub>8</sub> O <sub>2</sub> 分子量 88.11	試験濃度	試験濃度	試験濃度																			
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																			
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																			
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																			
	試験結果 間接 BOD 65, 55, 52 (57)% 直接 TOC 85, 84, 71 (80)% G C 86, 84, 71 (80)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接																		
純度*1 99.5%	外観 無色透明液体																					
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.5%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 100 g/L 以上 (25°C)	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																			
融点*2 7°C		判定	判定																			
沸点*2 141~149°C (20mmHg)	1-オクタノール/水分配係数	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・(水+被験物質)系、(汚泥+被験物質)系共に GC クロマトグラム上に被験物質以外のピークは認められず、DOC 残留率と被験物質残留率はほぼ一致した。 ・逆転条件予備試験結果(4週間) (非 CLP 試験)	備考																			
比重*1 d <sub>20</sub> <sup>20</sup> 1.0718																						
LD50*3 1,250mg/kg(oral, rat)	安定性																					
IRチャートの有無 (有) ・ 無																						
用途*4 写真・複写機用添加剤																						
生産量*4 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">分解度 (%)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOC</td> <td>98</td> <td>97</td> <td>100</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>G C</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>			分解度 (%)				1	2	3	平均	TOC	98	97	100	99	G C	100	100	100	100
	分解度 (%)																					
	1	2	3	平均																		
TOC	98	97	100	99																		
G C	100	100	100	100																		
試料 購入先 東京化成工業		(培養期間 18.10.17~18.11.14)																				
経済産業公報発表年月日 年 月 日																						

\*1 東京化成工業添付資料による。

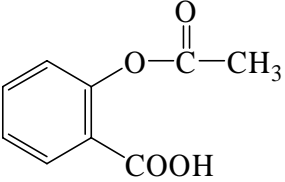
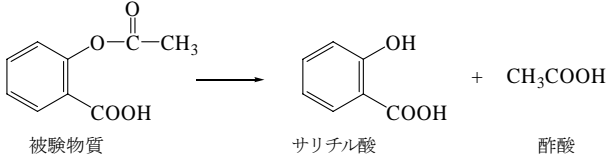
\*2 Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine) (11/2002)による。

\*3 東京化成工業 MSDS による。

\*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

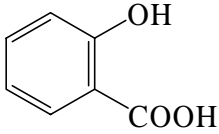
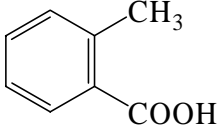
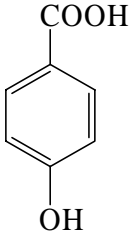
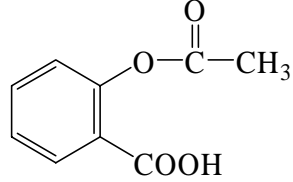
K-1783の類似物質表

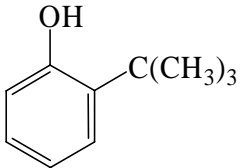
化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2-ブテン-1,4-ジオール (110-64-5)	$\text{HO}-\text{CH}_2-\text{CH}=\text{CH}-\text{CH}_2-\text{OH}$	9-1161 (K-1783)	標準(4W) 2007年実施 BOD 65, 55, 52 (57) TOC 85, 84, 71 (80) G C 86, 84, 71 (80)  逆転予備(4W) 2007年実施 TOC 98, 97, 100 (99) G C 100, 100, 100 (100)					
1,2-ブタンジオール (584-03-2)	$\begin{array}{c} \text{OH} \\   \\ \text{CH}_3-\text{CH}_2-\text{CH}-\text{CH}_2-\text{OH} \end{array}$	2-0235 (K-1071)	標準(4W) 1992年実施 BOD 91, 99, 99 (96) TOC 93, 93, 91 (92) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1992)	1992年実施 -0.34 (フラスコ振とう法)			
cis-3-ヘキセン-1-オール (928-96-1)	$\text{CH}_3-\text{CH}_2-\text{CH}=\text{CH}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{OH}$	2-2393 (K-1302)	標準(4W) 1998年実施 BOD 85, 89, 86 (87) TOC 97, 97, 97 (97) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1998)				

整理番号 K-1784 (NEDO 356, 3-1652)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
o-アセトキシ安息香酸 (50-78-2)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 18. 9.28~18.12. 8	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>9</sub> H <sub>8</sub> O <sub>4</sub> 分子量 180.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
純度* <sup>1</sup> 99.9%	外観 白色の結晶		
不純物* <sup>1</sup> (物質名, 含有率) サリチル酸 0.1%以下 残りは不明	溶解度 (対水, その他) 対水* <sup>2</sup> 4600 mg/L (25℃) 対アセトニトリル 1 g/L 以上	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点* <sup>2</sup> 135℃		判定	判定
沸点* <sup>3</sup> 沸点以下 140℃で分解する。	1-オクタノール/水分配係数	備考 1. 回収率* (水 + 被験物質) 系 100% (汚泥 + 被験物質) 系 100% 3. 特記事項 ・ 開始時に pH 調整を行った。 ・ (水 + 被験物質) 系において、被験物質は全て加水分解した。 ※試験液を直接分析機器に導入。  被験物質 → サリチル酸 + 酢酸 (官報公示整理番号(2)-1640) (官報公示整理番号(2)-688) K-142, S50. 12. 15(19), 良分解 K-1101, H5. 3. 23(181), 良分解	
密度* <sup>4</sup> 1.4 g/cm <sup>3</sup>			
LD <sub>50</sub> * <sup>5</sup> 200 mg/kg(ラット, 経口) 250 mg/kg(マウス, 経口)	安定性		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途* <sup>5</sup> 適用外 (医薬品等)			
生産量* <sup>5</sup> (15年) 輸入 281 t			
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 和光純薬工業添付資料による。 \*2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。  
 \*3 国際化学物質安全性カード (国立医薬品食品衛生研究所) による。 \*4 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000) による。 \*5 化学工業日報社 14705 の化学商品による。

K - 1784の類似物質表

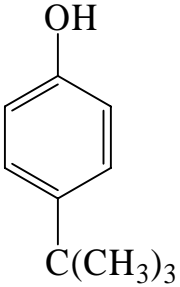
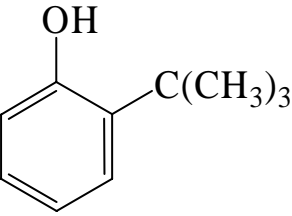
化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
サリチル酸 (69-72-7)		3-1640 (K-142)	標準(2W) 1975年実施 BOD 92, 85 (88) TOC 98, 97 (98) U V(295nm) 100, 100 (100) HPLC 100, 100 (100)	良分解性 (1975)				
o-メチル安息香酸 (118-90-1)		3-1285 (K-710)	標準(4W) 1984年実施 BOD 96, 91, 95 (94) TOC 94, 94, 97 (95) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1984)				
4-ヒドロキシ安息香酸 (99-96-7)		3-1640 (K-1321)	標準(2W) 1996年実施 BOD 90, 91, 88 (90) TOC 99, 100, 100 (100) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1996)	1997年実施 1.37 (フラスコ振とう法)			
o-アセトキシ安息香酸 (50-78-2)		3-1652 (K-1784)	標準(4W) 2006年実施 BOD 88, 83, 88 (86) TOC 99, 99, 94 (98) HPLC 100, 100, 100 (100)					

整理番号 K-81C (NEDO 348, 3-0503)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
<i>o</i> -tert-ブチルフェノール (88-18-6)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 5.23~18. 8. 3	試験期間 . . ~ . .	試験期間 . . ~ . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>10</sub> H <sub>14</sub> O      分子量 150.22	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接	試験結果 直接	試験結果 直接
純度* <sup>1</sup> 99.9% (毛管カラム GC)	外観 黄色澄明の液体		
不純物* <sup>1</sup> (物質名, 含有率) 水分 0.01% 残り 0.09% は不明	溶解度 (対水, その他) 対水* <sup>2</sup> 700 mg/L (25°C) 対メタノール 10 g/L 以上	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点* <sup>3</sup> -7°C		判定	判定
沸点* <sup>3</sup> 224°C	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 3.74 (pH4.0)	備考  1. 回収率 (水+被験物質)系 100%* (汚泥+被験物質)系 100%*  ※試験液を直接分析機器に導入。  2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構  3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。  ・被験物質の一部が試験液から炭酸ガス吸収剤に移行した。  ・(水+被験物質)系及び(汚泥+被験物質)系の試験液・炭酸ガス吸収剤のGC分析において、クロマトグラム上に変化物ピークは認められなかった。	備考
密度* <sup>1</sup> 0.984g/cm <sup>3</sup> (20°C)	(フラスコ振とう法による予備値)		
LD <sub>50</sub> 440 mg/kg (oral, rat)	安定性* <sup>4</sup> 光により変質する。		
IRチャートの有無 (有) ・ 無	解離定数* <sup>2</sup> pKa = 10.28		
用途* <sup>5</sup> 添加剤 (樹脂用、紙用)			
生産量* <sup>5</sup> (16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t 未滿			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 和光純薬工業添付資料による。 \*2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。  
 \*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。 \*4 和光純薬工業 製品安全データシート (2006/4) による。  
 \*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。



K-81Cの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
<i>p-tert</i> -ブチル フェノール (98-54-4)		3-0503 (K-81)	標準(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 5, 3 (4) G C 4, 1 (3) U V(273nm) 4, 4 (4) 逆転(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 2, 0 (1) G C 0, 0 (0) U V(274nm) 0, 0 (0)	難分解性 (1975)	1996年実施 3.29 (フラスコ振とう法)	4.0 (48hr)	1976年実施 1区(40mg/L): 20~43 2区(4mg/L): <48~88  脂質含有率 —	高濃縮性 ではない (1976)
<i>o-tert</i> -ブチル フェノール (88-18-6)		3-0503 (K-81C)	標準(4W) 2005年実施 BOD -3, -4, -4 (0)* TOC 35, 40, 25 (33) HPLC 32, 39, 23 (31)		2007年実施 3.74 (フラスコ振とう法)			

\* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

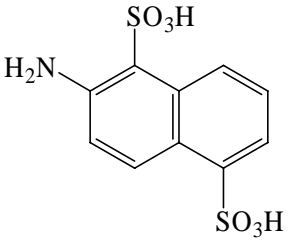
整理番号 K-762D (NEDO 353, 2-0133)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
(Z)-9-オクタデセン-1-アミン (112-90-3)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 18. 9. 14~18. 11. 28	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  $\begin{array}{c} \text{CH}_3(\text{CH}_2)_7 \\   \\ \text{C}=\text{C} \\   \quad   \\ \text{H} \quad \text{H} \end{array} \quad (\text{CH}_2)_8\text{NH}_2$ 分子式 C <sub>18</sub> H <sub>37</sub> N                      分子量 267.49	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -3, -5, -5 (0)% 直接 GC 7, 3, 7 (6)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 82.9%                      外観 無色透明の液体	溶解度 (対水, その他) 対水 10 mg/L 以下 (25℃) 酢酸エチル 10 g/L 以上	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 14.9℃ (凝固点として)	判定	判定	判定
沸点*3 300℃以上 密度*3 790 kg/m <sup>3</sup> (60℃) LD50 IRチャートの有無 (有) ・ 無	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 7.50*4	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 99% (汚泥+被験物質)系 99%	備考
用途 合成樹脂等	2. 実施機関 ・ 広栄テクノ株式会社		
生産量*5 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満	3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		
試料*5 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 GC 及び GC-MS による。 \*2 和光純薬工業製品安全データシートによる。 \*3 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000) による。 \*4 Kowwin v 1.67 による計算値。 \*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K - 7 6 2 Dの類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
1 - ベンチルアミン (110-58-7)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{NH}_2$	2-0133 (K-762A)	標準(3W) 1985年実施 BOD 72, 76, 76 (75) TOC 94, 97, 99 (97) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1985)				
(Z) - 9 - オクタデ セン - 1 - アミン (112-90-3)	$\begin{array}{c} \text{CH}_3(\text{CH}_2)_7 \quad (\text{CH}_2)_8\text{NH}_2 \\ \quad \quad \quad \diagdown \quad \diagup \\ \quad \quad \quad \text{C} = \text{C} \\ \quad \quad \quad \diagup \quad \diagdown \\ \quad \quad \quad \text{H} \quad \quad \quad \text{H} \end{array}$	2-0133 (K-762D)	標準(4W) 2006年実施 BOD -3, -5, -5 (0)* G C 7, 3, 7 (6)					
1 - ノナデシルアミン (14130-05-3)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{17}\text{CH}_2\text{NH}_2$	2-0133 (K-762B)	標準(4W) 1986年実施 BOD 47, 76, 71 (65) TOC 96, 98, 99 (98) HPLC 95, 100, 100 (98)	良分解性 (1986)				

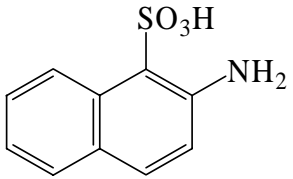
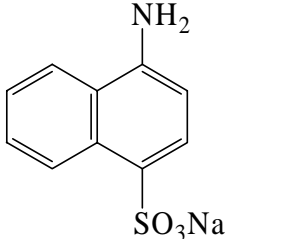
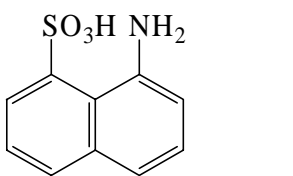
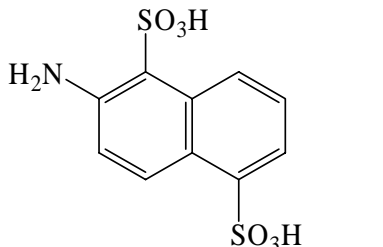
\* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。

整理番号 K-1782 (NEDO 351, 4-0501)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-アミノ-1,5-ナフタレンジルスルホン酸 (117-62-4)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 9.26~19. 2.28	試験期間 . . ~ . .	試験期間 . . ~ . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>10</sub> H <sub>9</sub> NO <sub>6</sub> S <sub>2</sub> 分子量 303.31	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -1, 4, -1 (1)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 TOC 2, 8, 5 (5)% HPLC -1, -1, -1 (0)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度 82.0% (HPLC 及びカール フィッシャー法による。)	外観 僅かに黄みを帯びた粉末		
不純物 (物質名, 含有率) アミノナフタルスルホン酸(置換位置不明) 8.8% 水 9.2%	溶解度 (対水, その他) 対水 20.9 g/L (25°C) (フラスコ法)	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 >300°C		判定	判定
沸点 測定不可	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = -1.85*2	備考 1. 回収率* (水 + 被験物質) 系 100% (汚泥 + 被験物質) 系 100%	備考
密度 測定不可 (不純物を含むため)		※試験液を直接分析機器に導入。	
LD50*1 5,430mg/kg(oral, rat)	安定性	2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 (有) ・ 無		3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 Fluka Chemie GmbH			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data による。

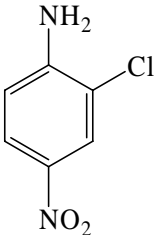
\*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

K - 1 7 8 2 の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2 - ナフチルアミン スルホン酸 (81-16-3)		4-0493 (K-106)	標準(2W) 1975年実施 BOD 5, 3 (4) TOC 1, 1 (1) U V(280nm) 0, 0 (0) HPLC 6, 6 (6)	難分解性 (1975)	/	610 (48hr)	1976年実施 1区(5 mg/L) : <0.6 2区(0.5mg/L) : <6 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1976)
ナフチオン酸ナトリ ウム (130-13-2)		4-0492 (K-153)	標準(2W) 1976年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 0, 0 (0) U V(320nm) 0, 1 (0)	難分解性 (1976)	/	4000 (48hr)	1978年実施 1区(10mg/L) : <0.6 2区( 1mg/L) : <6 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1977)
5 - アミノ - 4 - ナ フチルスルホン酸 (82-75-7)		4-0491 (K-273)	標準(2W) 1976年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 4, 4 (4) U V(248nm) 8, 2 (5)	難分解性 (1977)	/	/	2 - ナフチルアミンスル ホン酸及びナフチオン酸 ナトリウムより類推	高濃縮性 ではない (1977)
2 - アミノ - 1, 5 - ナフタレンジスルホン 酸 (117-62-4)		4-0501 (K-1782)	標準(4W) 2006年実施 BOD -1, 4, -1 (1) TOC 2, 8, 5 (5) HPLC -1, -1, -1 (0)* <sup>1</sup>		-1.85* <sup>2</sup>			

\*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。

\*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-246B (NEDO 354, 3-0407)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-クロロ-4-ニトロアニリン (121-87-9)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 6. 14~18. 8. 25	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> ClN <sub>2</sub> O <sub>2</sub> 分子量 172.57	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.7% (毛管カラム GC)	外観 黄色粉末	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.1% 残り 0.2%は不明	溶解度*2 (対水, その他) 対水 0.23g/L (20°C)	判定	判定
融点*1 106.7°C	1-オクタノール/水分係数 log Pow = 1.9 (HPLC法)*4	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。	備考
沸点*2 320°C (分解) (1013hPa)			
密度*2 1.38g/cm <sup>3</sup> (20°C)	解離定数*5 pKa = -0.94	2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	備考
LD50*3 6,430 mg/kg (ラット, 経口) 1,250 mg/kg (マウス, 経口)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無	3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		
用途*6 アゾ系分散染料、顔料の中間体			
生産量*7 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満			
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 和光純薬工業添付資料による。 \*2 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000)による。  
 \*3 神奈川県環境科学センター化学物質安全情報提供システムによる。 \*4 溶離液：メタノール/りん酸緩衝液(pH8.0) (1/1 V/V) \*5 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。 \*6 14705の化学商品(化学工業日報社)による。 \*7 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験 事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験					毒性試験 年月日		
試験期間 18.12.7 ~ 18.12.26					試験期間 . . . ~ . . .							
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			依 頼  経過		
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )							
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤					
第1濃度区					第1濃度区							
第2濃度区					第2濃度区							
第3濃度区					第3濃度区							
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )					
		日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後			日後
第1	水槽濃度( )											
	倍率											
第2	水槽濃度( )											
	倍率											
第3	水槽濃度( )											
	倍率											
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催							
判定結果					判定結果							
備考  分配係数から類推  [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考							

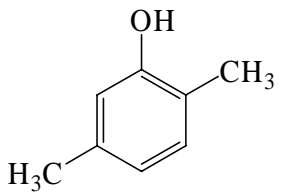
K - 2 4 6 B の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
4 - クロロ - 2 - ニトロ アニリン (89-63-4)		3-0407 (K-246)	標準(2W) 1976年実施 BOD 0, 0, (0) TOC 0, 0, (0) G C 0, 0, (0)	難分解性 (1976)	/	17.4 (48hr)	1977年実施 1区(100µg/L): 7.5~13.2 2区(10µg/L): 8.0~13.4 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1977)
2 - クロロ - 4 - ニトロ アニリン (121-87-9)		3-0407 (K-246B)	標準(4W) 2006年実施 BOD -4, -5, -3 (0)*1 TOC 4, 3, 3 (3) HPLC 1, 0, 1 (1)		2006年実施 1.9 (HPLC法)*2	/	分配係数から類推	
2, 4 - ジニトロアニ リン (97-02-9)		3-0403 (K-1176)	標準(4W) 1993年実施 BOD 0, 13, 0 (4) HPLC 7, 2, 0 (3)	難分解性 (1993)	1993年実施 1.88 (フラスコ振とう法)	/	分配係数から類推	高濃縮性 ではない (1994)
6 - クロロ - 2, 4 - ジニトロアニリン (3531-19-9)		3-0422 (K-1313)	標準(4W) 1996年実施 BOD 0, 0, 1 (0) HPLC 2, 2, 1 (1)	難分解性 (1996)	1998年実施 不適切な程度に解離 〔フラスコ振とう 法による参考値 2.20〕	16.3 (48hr)	1998年実施 1区(100µg/L): 8.1~12 2区(10µg/L): 7.6~10 脂質含有率 3.7%	高濃縮性 ではない (1998)

\*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

\*2 溶離液：メタノール/リン酸緩衝液(pH8.0)(1/1 V/V)

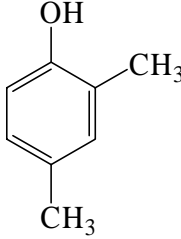
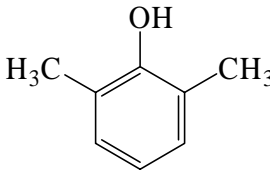
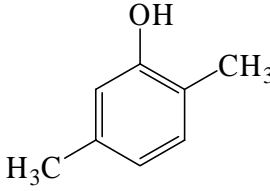


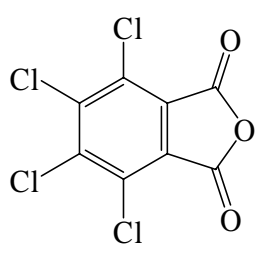
整理番号 K-1227D (NEDO 327, 3-0521)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2, 5-キシレンール (95-87-4)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17. 7. 25~17. 9. 29	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状   分子式 C <sub>8</sub> H <sub>10</sub> O 分子量 122.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 直接	BOD 0, -1, 0 (0)% TOC 2, 3, 1 (2)% HPLC 3, 2, 1 (2)%	試験結果 間接 直接
純度*1 99.5%	外観 白色微細結晶	審査部会 第 49 回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.1% 残り 0.4%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水*2 3540 mg/L(25℃)	判定 難分解性	判定
融点*1 75.3℃	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.6 (HPLC法)*4	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※分解試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	備考
沸点*2 211.5℃ (762mmHg)	解離定数 pKa = 10.41*5		備考
比重*3 1.026 (20℃)			備考
LD50*2 444 mg/kg(oral, rat) 383 mg/kg(oral, mouse) 938 mg/kg(oral, rabbit)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*6 添加剤(繊維用)			
生産量*6 (16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t 未満			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 和光純薬工業添付資料による。 \*2 Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine)(2/2003)による。 \*3 有機化合物辞典(講談社)による。  
\*4 溶離液:メタノール/りん酸緩衝液(pH3.0)(6/4 V/V) \*5 The Physical Properties Database(Syracuse Research Corporation)による。  
\*6 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験 事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験					毒性試験 年月日	
試験期間 18.11.2 ~ 18.11.14					試験期間 . . . ~ . . .						
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			依 頼  経過	
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )						
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤				
第1濃度区					第1濃度区						
第2濃度区					第2濃度区						
第3濃度区					第3濃度区						
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )				
		日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後		
第1	水槽濃度( )										
	倍率										
第2	水槽濃度( )										
	倍率										
第3	水槽濃度( )										
	倍率										
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催						
判定結果					判定結果						
備考  分配係数から類推  [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考						

K - 1 2 2 7 Dの類似物質表

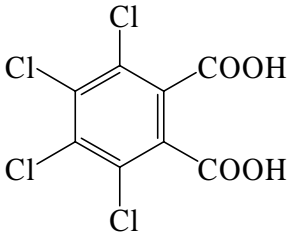
化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2,4 - キシレノール (105-67-9)		3-0521 (1227C)	標準(4W) 2001年実施 BOD 98, 84, 91 (91) TOC 99, 98, 97 (98) HPLC 100, 100, 100(100)	良分解性 (2001)	/	/	/	/
2,6 - キシレノール (576-26-1)		3-0521 (1227B)	標準(4W) 2001年実施 BOD 4, 2, 0 (2) HPLC -1, 3, 1 (1)	難分解性 (2001)	2002年実施 2.33 (フラスコ振とう法)	/	分配係数から類推	高濃縮性 ではない (2002)
2,5 - キシレノール (95-87-4)		3-0521 (1227D)	標準(4W) 2005年実施 BOD 0, -1, 0 (0) TOC 2, 3, 1 (2) HPLC 3, 2, 1 (2)	難分解性 (2005)	2006年実施 2.6 (HPLC法)	/	分配係数から類推	/

整理番号 K-1476 (NEDO 163, 3-1423)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
四塩化無水フタル酸	契約 13年 11月 1日	契約 年 月 日	契約 年 月 日
[別名: 3, 4, 5, 6-テトラクロロフタル酸無水物] (117-08-8)	試験期間 13.11. 9~14. 1.22	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>8</sub> Cl <sub>4</sub> O <sub>3</sub> 分子量 285.90	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 直接	BOD 0, 0, 0 (0%) TOC 0, 0, 1 (0%) HPLC 100, 100, 100(100%)	試験結果 間接 直接
純度*1 100%	外観 白色粉末		
不純物 (物質名, 含有率)	溶解度 (対水, その他) 対水 変化のため測定不可 対クロロホルム 1 g/L 以上 対メタノール 1 g/L 以上	審査部会 第 1 2 回 14年 3月 22日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 256.3℃		判定 難分解性	判定
沸点*3 371℃	1-オクタノール/水分係数 log Kow = 4.65*5	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 97.2% (汚泥+被験物質)系 94.9% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・被験物質は試験液中で全て変化し、3, 4, 5, 6-テトラクロロフタル酸(3-0062)を生成し、残留した。 ・後続試験は3, 4, 5, 6-テトラクロロフタル酸で実施した。	備考
密度 測定不可			
LD50*4 >15,800 mg/kg (oral, rat) >5 g/kg (skin, rabbit)	安定性 水中で加水分解する。		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*6 色素添加剤			
生産量*6 (16年) 製造及び輸入 10~100 t			
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 HPLCによる。 \*2 和光純薬工業添付資料による。 \*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。

\*4 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets(11/1998-1/1999)による。 \*5 Kowwin v 1.67による計算値。 \*6 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					濃縮度試験					毒性試験								
年 月 日					年 月 日										年 月 日			
試験期間					試験期間					依 頼								
試験装置 標・揮 LC50値 mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮 LC50値 mg/L( hr)魚種( )													
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )					経過								
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤											
第1濃度区					第1濃度区													
第2濃度区					第2濃度区													
第3濃度区					第3濃度区													
濃縮倍率		開始前 脂質含有率 終了後 % 魚種( )			濃縮倍率		開始前 脂質含有率 終了後 % 魚種( )											
		日後	日後	日後	日後	日後			日後						日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度( )						第1	水槽濃度( )										
	倍率							第2	水槽濃度( )									
第2	水槽濃度( )						第2		水槽濃度( )									
	倍率							第3	水槽濃度( )									
第3	水槽濃度( )						第3		水槽濃度( )									
	倍率																	
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催													
判定結果					判定結果													
備考					備考													
変化物テトラクロロフタル酸から類推																		

整理番号 K-1476 変化物 (NEDO 163, 3-0062)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
テトラクロロフタル酸 (632-58-6)		契約 年 月 日		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>8</sub> H <sub>2</sub> Cl <sub>4</sub> O <sub>4</sub> 分子量 303.91		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接		間接		間接	
			直接		直接		直接	
純度*1 98.1% (中和滴定)	外観 白色結晶性粉末	審査部会 第 回		審査部会 第 回		審査部会 第 回		
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 2.9%	溶解度 (対水, その他) 対水 3600mg/L (20°C)	年 月 日開催		年 月 日開催		年 月 日開催		
融点*2 98°C		判定		判定		判定		
沸点 測定不可 (270°C付近から 淡茶色に変化)	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 3.2 (HPLC法)*3	備考		備考		備考		
密度 1.760g/cm <sup>3</sup> (20°C)								
LD50	解離定数 (20°C) pKa1 = 1.95 pKa2 = 2.99 (滴定法)							
IRチャートの有無 (有) ・ 無								
用途*4 色素添加剤								
生産量*4 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満								
試料 購入先								
経済産業省公報発表年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		

\*1 東京化成工業添付資料による。 \*2 [http://physchem.ox.ac.uk/MSDS/TE/tetrachlorophthalic\\_acid.html](http://physchem.ox.ac.uk/MSDS/TE/tetrachlorophthalic_acid.html) による。

\*3 溶離液: メタノール/pH1.0 緩衝液(7/3 V/V) \*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

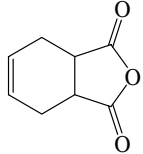
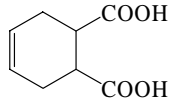
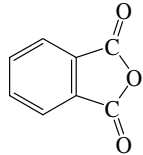
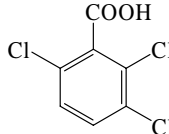
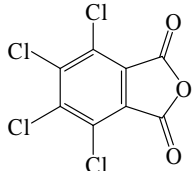
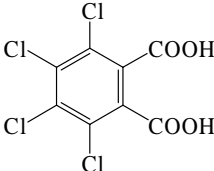
濃縮度試験					事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験									
試験期間					19. 2. 9 ~ 19. 3. 6					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr)魚種( )				
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )									
被験物質					分散剤					被験物質					分散剤				
第1濃度区										第1濃度区									
第2濃度区										第2濃度区									
第3濃度区										第3濃度区									
濃縮倍率					脂質含有率					濃縮倍率					脂質含有率				
					開始前 終了後										開始前 終了後				
					%										%				
					魚種( )										魚種( )				
					日後										日後				
					日後										日後				
					日後										日後				
					日後										日後				
					日後										日後				
第1					水槽濃度( )					第1					水槽濃度( )				
					倍率										倍率				
第2					水槽濃度( )					第2					水槽濃度( )				
					倍率										倍率				
第3					水槽濃度( )					第3					水槽濃度( )				
					倍率										倍率				
審査部会 第66回					19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回					年 月 日 開催				
判定結果										判定結果									
備考					分配係数から類推					備考									
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験  
年月日

依  
頼

経過

K - 1 4 7 6 変化物の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
<i>cis</i> -1,2,3,6-テトラ ヒドロフタル酸無水物 (935-79-5)		3-3435 (K-947)	標準(4W) 1991年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 0, 0, 0 (0) G C 100,100,100(100)	難分解性 (1991)	/	/	4-シクロヘキセン-1,2- ジカルボン酸から類推	高濃縮性 ではない (1991)
4-シクロヘキセン- 1,2-ジカルボン酸 (88-98-2)		3-3316 (K-263)	標準(2W) 1976年実施 BOD 3, 3 (3) TOC 0, 0 (0) G C 0, 2 (1) 逆転(4W) 1978年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 6, 0 (3) G C 15, 16 (15) HPLC 9, 18 (14)	難分解性 (1978)	/	600 (48hr)	1979 年実施 1 区(2.0mg/L) : <0.2 2 区(0.2mg/L) : <2 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1979)
無水フタル酸 (85-44-9)		3-1344 (K-126)	標準(2W) 1975年実施 BOD 87, 83 (85) TOC 91, 96 (93) U V(280nm)96, 97 (96)	良分解性 (1978)	/	/	/	/
2,3,6-トリクロロ安息 香酸 (50-31-7)		3-2987 (K-563)	標準(4W) 1987年実施 BOD 0, 2, 0 (1) TOC 0, 0, 0 (0) GC-MS 0, 1, 0 (0)	難分解性 (1987)	0.70 ~ 0.97 (フラスコ振とう法)	417 (48hr)	1988 年実施 1 区(293 µg/L) : <0.4 2 区(29.3µg/L) : <3.5 脂質含有率 5.1%	高濃縮性 ではない (1988)
3,4,5,6-テトラクロロ フタル酸無水物 (117-08-8)		3-1423 (K-1476)	標準(4W) 2002年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 0, 0, 1 (0) HPLC 100,100,100(100) [テトラクロロフタル酸を生成 し、残留した。]	難分解性 (2002)	4.65 <sup>*1</sup>	/	テトラクロロフタル酸から 類推	
テトラクロロフタル 酸 (2136-79-0)		3-0062 (K-1476 変化物)	/	/	2007 年実施 3.2 (HPLC 法) <sup>*2</sup>	/	分配係数から類推	

\*1 Kowwin v 1.67 による計算値。

\*2 溶離液 : メタノール / pH1.0 緩衝液(7/3 V/V)



整理番号 K-1587 (NEDO 114, 2-2795)		分解度試験		備考 3. 特記事項 被験物質は試験液中で消失し、臭化物イオンが 20~2%、アンモニア態窒素が 50~53% 生成し、残留した。 変化物 (LC-MS による推定) として ①2-ブロモプロパンジアミド、②2,2-ジブロモプロパンジアミド、③2-ブロモ-2-シアノアセトアミド、④2,2-ジブロモアセトアミドが生成し、残留した。  ① $\text{H}_2\text{NOC}-\underset{\text{Br}}{\overset{\text{H}}{\text{C}}}-\text{CONH}_2$ ② $\text{H}_2\text{NOC}-\underset{\text{Br}}{\overset{\text{Br}}{\text{C}}}-\text{CONH}_2$ ③ $\text{NC}-\underset{\text{Br}}{\overset{\text{H}}{\text{C}}}-\text{CONH}_2$ ④ $\text{H}-\underset{\text{Br}}{\overset{\text{Br}}{\text{C}}}-\text{CONH}_2$  ①~④は試薬が入手できなかった。また、HPLC クロマトグラム上の保持時間から、①~④は被験物質より極性が高い。後続試験は被験物質で実施した。  HPLC クロマトグラムの保持時間 (分) 被験物質 4.2 変化物① 1.8 変化物② 2.2 変化物③ 2.3 変化物④ 2.6
2-シアノ-2,2-ジブロモアセトアミド (10222-01-2)		契約 13年 3月 28日		
		試験期間 13. 9.28~13.12.18		
		試験装置 (標)・揮		
構造式 (示性式)・物理化学的性状		試験濃度		
$\text{N}\equiv\text{C}-\underset{\text{Br}}{\overset{\text{Br}}{\text{C}}}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{NH}_2$		被験物質 100 mg/L		
		汚泥 30 mg/L		
分子式 C <sub>3</sub> H <sub>2</sub> Br <sub>2</sub> N <sub>2</sub> O 分子量 241.87		本試験期間 4 週間		
純度*1 98.0% 外観*1 白色粉末		試験結果	間接 BOD 0, 0, 0 (0)%	
			直接 TOC 20, 14, 10 (15)% HPLC 100, 100, 100(100)%	
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.2%については不明		溶解度 (対水, その他) 対水 変化のため測定不可 対アセトニトリル 100 g/L 以上		
融点*1 124.0~125.6℃		審査部会 第 11 回 14年 1月 29日開催		
沸点 測定不可(160℃付近で黄色に変色)		判定 難分解性		
比重 2.377 g/cm <sup>3</sup> (25℃)		備考		
LD <sub>50</sub> *1 235 mg/kg(経口, ラット) >2000 mg/kg(経皮, うさぎ)		1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。		
IRチャートの有無 (有)・無		2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		
用途				
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満				
試料				
経済産業公報発表年月日		年 月 日		

\*1 提供先添付資料による。

\*2 溶離液:メタノール/りん酸緩衝液(pH7.0)(40/60 V/V)

\*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験									
試験期間					18.11.13 ~ 18.11.28					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )						
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )									
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )		
		終了後			日後		日後					終了後			日後		日後		
第1	水槽濃度 ( )					第1		水槽濃度 ( )											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度 ( )					第2		水槽濃度 ( )											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度 ( )					第3		水槽濃度 ( )											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果										判定結果									
備考										備考									
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験	
依頼	年月日

経過

K - 1 5 8 7 の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ホルムアミド (75-12-7)	$\text{H}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{NH}_2$	2-0681 (K-165)	標準(3W) 1976年実施 BOD 16, 29 (23) TOC 82, 78 (80) G C 100, 100 (100)	良分解性 (1976)				
アセトアミド (60-35-5)	$\text{CH}_3-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{NH}_2$	2-0724 (K-1540)	標準(2W) 2001年実施 BOD(NH <sub>3</sub> ) 67, 69, 70 (69) TOC 100, 100, 100(100) HPLC 100, 100, 100(100)	良分解性 (2001)				
アクリルアミド (79-06-1)	$\text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{NH}_2$	2-1014 (K-33)	標準(4W) 1998年実施 BOD 84, 71, 55 (70) TOC 89, 86, 74 (83) HPLC 100, 86, 75 (87) 逆転(2W) 1998年実施 (参考データ) TOC 98, 100, 100 (99) HPLC 100, 100, 100(100)	良分解性 (1998)				
2 - シアノ - 2 , 2 - ジブロモアセト アミド (10222-01-2)	$\text{N}\equiv\text{C}-\overset{\text{Br}}{\underset{\text{Br}}{\text{C}}}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{NH}_2$	2-2795 (K-1587)	標準(4W) 2001年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 20, 14, 10 (15) HPLC 100, 100, 100(100)	難分解性 (2002)	2006 年実施 0.5 (HPLC 法)		分配係数から類推	

整理番号 K-1628 (NEDO 361, 2-0390)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ビス(2-ジメチルアミノエチル)エーテル (3033-62-3)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 18. 7. 24~18. 11. 13	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  $\begin{array}{c} \text{CH}_2\text{CH}_2\text{N}(\text{CH}_3)_2 \\   \\ \text{O} \\   \\ \text{CH}_2\text{CH}_2\text{N}(\text{CH}_3)_2 \end{array}$ 分子式 $\text{C}_8\text{H}_{20}\text{N}_2\text{O}$ 分子量 160.26	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 直接	BOD 0, 0, 0 (0%) TOC 2, 3, 4 (3%) LC-MS 6, 7, 0 (4%)	試験結果 間接 直接
純度 ①99.5%(GC)*1 ②98.6%(GC)*2	外観 無色透明液体		
不純物 (物質名, 含有率) ①残り 0.5%は不明*1 ②残り 1.4%は不明*2	溶解度 (対水, その他) 対水 100g/L 以上(25°C) (フラスコ法)	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 -70.5°C		判定	判定
沸点*3 189°C	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 1.1 (HPLC法)*4	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。	備考
密度*3 0.841g/cm <sup>3</sup>			
LD50*3 1,070mg/kg(oral, rat)	解離定数*5 pKa1 = 7.6 pKa2 = 10.1		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途		2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	
生産量 (年)		3. 特記事項 ・ 開始時に pH 調整を行った。	
試料 購入先 ①Lancaster Synthesis ②Fluorochem			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

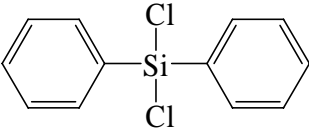
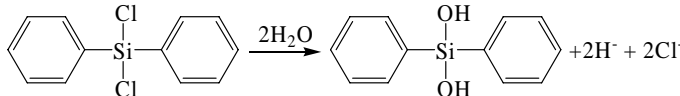
\*1 Lancaster Synthesis 添付資料による。 \*2 Fluorochem 添付資料による。 \*3 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets (Version 1.1)による。  
 \*4 溶離液：メタノール/りん酸緩衝液(pH11.0)(1/1 V/V) \*5 [http://www.huntsman.com/performance-products/Media/Amine\\_Apps\\_&Properties\\_Data](http://www.huntsman.com/performance-products/Media/Amine_Apps_&Properties_Data)による。  
 ①分解度試験及び物理化学性状試験 ②分配係数試験

濃縮度試験 事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験					毒性試験 年月日		
試験期間 18.12.1 ~ 18.12.13					試験期間 . . . ~ . . .							依 頼
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			経過		
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )							
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤					
第1濃度区					第1濃度区							
第2濃度区					第2濃度区							
第3濃度区					第3濃度区							
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )					
		日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後			日後
第1	水槽濃度( )											
	倍率											
第2	水槽濃度( )											
	倍率											
第3	水槽濃度( )											
	倍率											
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催							
判定結果					判定結果							
備考  分配係数から類推  [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考							

K - 1 6 2 8 の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ジメチルエーテル (115-10-6)		2-0360 (K-909)	標準(4W) 1990年実施 BOD 0, 1, 0 (0) TOC 6, 8, 10 (8) G C 5, 6, 9 (7)	難分解性 (1990)	1991年実施 0.20 (フラスコ振とう法)	/	分配係数から類推	高濃縮性 ではない (1991)
ジエチルエーテル (60-29-7)		2-0361 (K-114)	標準(4W) 1984年実施 TOC 5, 0 (2) G C 13, 0 (6)	難分解性 (1984)	/	>1g/L (48hr)	1985年実施 1区(500µg/L): 0.9~1.4 2区(50µg/L): <1.7~9.1 脂質含有率 4.8%	高濃縮性 ではない (1985)
イソプロピルエーテル (108-20-3)		2-0362 (K-1090)	標準(4W) 1994年実施 BOD 0, 0, 0 (0) G C 8, 8, 8 (8)	難分解性 (1994)	1997年実施 1.64 (フラスコ振とう法)	/	分配係数から類推	高濃縮性 ではない (1997)
n-ブチルエーテル (142-96-1)		2-0363 (K-453)	標準(4W) 1985年実施 BOD 4, 3, 3 (3) G C 0, 0, 0 (0)	難分解性 (1985)	1986年実施 3.35 (フラスコ振とう法) 2004年実施 3.6 (HPLC法)	30.7 (48hr)	1986年実施 1区(200µg/L): 47~83 2区(20µg/L): 30~114 脂質含有率 4.6%	高濃縮性 ではない (1986)
ジイソペンチルエーテル (544-01-4)		2-0365 (K-454)	標準(2W) 1980年実施 BOD 14, 10, 0 (8) G C 1, 3, 2 (2)	難分解性 (1980)	1982年実施 4.25 (フラスコ振とう法) 2004年実施 4.8 (HPLC法)	4.7 (48hr)	1982年実施 1区(60µg/L): 117~313 2区(6µg/L): 84~260 脂質含有率 5.7%	高濃縮性 ではない (1983)
ビス(2-ジメチルア ミノエチル)エーテル (3033-62-3)		2-0390 (K-1628)	標準(4W) 2006年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 2, 3, 4 (3) LC-MS 6, 7, 0 (4)		2006年実施 1.1 (HPLC法)*	/	分配係数から類推	

\* 溶離液 : メタノール/りん酸緩衝液(pH11.0)(1/1 V/V)

整理番号 K-1640 (NEDO207,3-2634)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ジクロロジフェニルシラン (80-10-4)	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 16.11.4~16.12.28	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>12</sub> H <sub>10</sub> Cl <sub>2</sub> Si      分子量 253.20	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
間接	BOD 0, -1, 0 (0)%	間接	
直接	G C 100, 100, 100(100)%	直接	
純度*1 100.0%	外観 無色澄明液体		
不純物 (物質名, 含有率)	溶解度 (対水, その他) 対水 水中変化のため測定不可	審査部会 第 47 回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -22°C		判定 難分解性	判定
沸点*3 304~305°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 5.06*4	備考 1. 回収率 (ジフェニルシランジオール) (水 + 被験物質) 系 101% (汚泥 + 被験物質) 系 104% 2. 実施機関 ・株式会社 日本医学臨床検査研究所 3. 特記事項 ・被験物質は試験液中で全て加水分解し、ジフェニルシランジオール (3-2638, logKow=2.03*4) を99~107%生成し、残留した。 	
比重*3 d <sub>4</sub> <sup>25</sup> 1.218			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 和光純薬工業添付資料による。

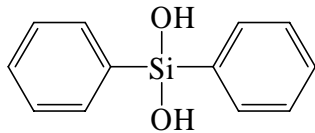
\*2 Hazardous Substances Data Bank (U.S. National Library of Medicine) (2002/5)による。

\*3 有機化合物辞典 (講談社) による。

\*4 Kowwin v 1.67 による計算値。

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験			
試験期間 . . . . . ~ . . . . .						試験期間 . . . . . ~ . . . . .						依 頼	年 月 日		
試験装置 標・揮		LC50 値 mg/L( hr)魚種( )				試験装置 標・揮		LC50 値 mg/L( hr)魚種( )					経過		
水槽設定濃度 ( )						水槽設定濃度 ( )									
被験物質		分散剤				被験物質		分散剤							
第1濃度区						第1濃度区									
第2濃度区						第2濃度区									
第3濃度区						第3濃度区									
濃縮倍率		脂質含有率		開始前 終了後		濃縮倍率		脂質含有率		開始前 終了後					
		日後		日後				日後		日後					
第1	水槽濃度 ( )						第1	水槽濃度 ( )							
	倍率							倍率							
第2	水槽濃度 ( )						第2	水槽濃度 ( )							
	倍率							倍率							
第3	水槽濃度 ( )						第3	水槽濃度 ( )							
	倍率							倍率							
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果						判定結果									
備考						備考									
ジフェニルシランジオールの分配係数から類推															



整理番号 K-1640 変化物 (NEDO207 変化物, 3-2638)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
ジフェニルシランジオール (947-42-2)		契約 年 月 日		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>12</sub> H <sub>12</sub> O <sub>2</sub> Si      分子量 216.31		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果	間接		間接		間接
直接			直接		直接		
純度*1 99.9% (GC)	外観 白色粉末	審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.1%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 327 mg/L (25°C)	判定		判定		判定	
融点*2 140°C	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.0 (HPLC法)*3	備考		備考		備考	
沸点 測定不可							
比重*2 0.99	安定性						
LD50							
IRチャートの有無 (有) ・ 無							
用途							
生産量 (年)							
試料 購入先 東京化成工業 試薬特級							
経済産業省公報発表年月日 年 月 日							

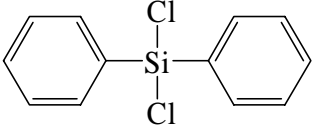
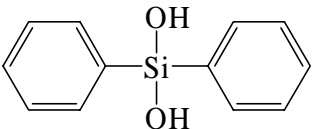
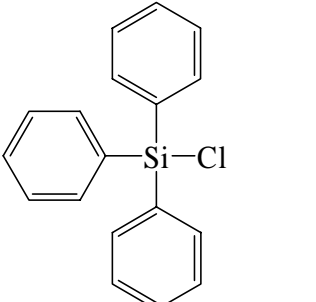
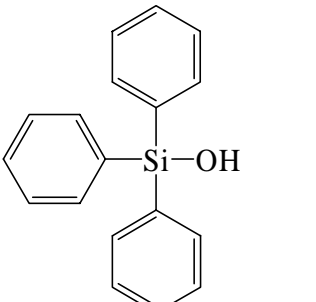
\*1 東京化成工業添付資料による。

\*2 <http://physchem.ox.ac.uk/MSDS/DI/diphenylsilanediol.html> による。

\*3 溶離液: メタノール/精製水 (55/45 V/V)

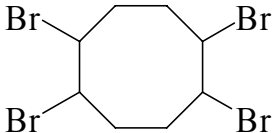
濃縮度試験 事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験契約 年 月 日					毒性試験 年月日
試験期間 18. 8. 15 ~ 18. 8. 31					試験期間 . . . ~ . . .					
試験装置 標・揮 LC50値 mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮 LC50値 mg/L( hr)魚種( )					依 頼
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )					
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤			経過
第1濃度区					第1濃度区					
第2濃度区					第2濃度区					
第3濃度区					第3濃度区					
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )					濃縮倍率 脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )					
		日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	
第1	水槽濃度( )									
	倍率									
第2	水槽濃度( )									
	倍率									
第3	水槽濃度( )									
	倍率									
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催					
判定結果					判定結果					
備考  分配係数から類推  [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考					

K - 1 6 4 0 変化物の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ジクロロジフェニル シラン (80-10-4)		3-2634 (K-1640)	標準(4W) 2004年実施 BOD 0, -1, 0 (0) <sup>*1</sup> G C 100, 100, 100 (100) 〔ジフェニルシランジオールを 生成し、残留した。〕	難分解性 (2005)	5.06 <sup>*2</sup>		ジフェニルシランジオール から類推	
ジフェニルシランジ オール (947-42-2)		3-2638 (K-1640 変化物)			2006 年実施 2.0 (HPLC 法)		分配係数から類推	
トリフェニルクロロ シラン (76-86-8)		3-2634 (K-818)	標準(4W)1986年実施 BOD 0, 0, 0 (0) G C 100, 100, 100 (100) 〔トリフェニルシラノールを生成 し、残留した。〕	難分解性 (1986)				
トリフェニルシラ ノール (791-31-1)		3-2638 (K-818 変化物)			1986 年実施 4.96 (フラスコ振とう法)	>250 (48hr)	1987 年実施 1 区(500µg/L): 297 ~ 667 2 区( 50µg/L): 491 ~ 1050  脂質含有率 4.7%	高濃縮性 ではない (1987)

\*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。

\*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-1715 (NEDO 287, 3-2254)	分解度試験	分解度試験	分解度試験	
1, 2, 5, 6-テトラブロモシクロオクタン (3194-57-8)	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日	
	試験期間 16.11.25~17.2.4	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .	
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>8</sub> H <sub>12</sub> Br <sub>4</sub> 分子量 427.80	試験濃度	試験濃度	試験濃度	
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間	
	試験結果 間接 BOD -16, 2, -1 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接	
	試験結果 直接 GC 1, 0, 1 (1)%	試験結果 直接	試験結果 直接	
純度*1 98.3%	外観 白色粉末			
不純物 (物質名, 含有率) 残り 1.7%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 347 µg/L (25°C) (カラム溶出法) 酢酸エチル 10 g/L 以上	審査部会 第 47 回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	
融点*2 97~105°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 5.24*3	判定 難分解性	判定	
沸点 測定不可	備考  1. 回収率 (水 + 被験物質) 系 95.7% (汚泥 + 被験物質) 系 95.1%  2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構  3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	備考	備考	
比重*2 2.37				
LD50		安定性		
IRチャートの有無 (有) ・ 無				
用途*4 樹脂用添加剤 (発砲ポリスチレン用難燃剤)				
生産量 (年)				
試料				
経済産業公報発表年月日	年 月 日			

\*1 GCによる。 \*2 提供先添付資料による。 \*3 Kowwin v 1.67による計算値。 \*4 14705の化学商品(化学工業日報社)による。

濃縮度試験		事業対象年度 平成17年度										ピーク1					毒性試験	
試験期間		18.10.20 ~ 19. 2. 28										部位別試験 (濃縮倍率)					依 頼	年 月 日
試験装置	(標)・揮	LC50値 7.50 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)										第1濃度区						
水槽設定濃度 (μg/L)												外皮 1700, 3400					経 過	
	被験物質	分散剤										頭部 3700, 6100						
		HCO-40					2-メトキシエタノール					内臓 3400, 8200						
第1濃度区	10	50					19000					可食部 1500, 2400						
第2濃度区	1	5					19000					第2濃度区						
		脂質含有率 開始前 5.07% 終了後 5.09% 魚種(コイ)										外皮 3100, ≤870*5						
濃縮倍率		ピーク1					ピーク2					排泄試験 (半減期)						
												第1濃度区 2.6日						
												第2濃度区 4.3日						
第1	水槽濃度 (μg/L)	11日後	21日後	34日後	47日後	60日後	第1	水槽濃度 (μg/L)	11日後	21日後	34日後	47日後	60日後	ピーク2				
	倍率	9.74	9.23	9.95	10.1	8.47		9.61	10.3	10.4	9.57	8.99	部位別試験 (濃縮倍率)					
第2	水槽濃度 (μg/L)	1.01	0.850	0.896	0.972	0.899	第2	水槽濃度 (μg/L)	0.916	0.987	0.979	0.872	0.901	第1濃度区				
	倍率	1700	2400	2800	4500	3700		2300	2700	3100	5500	4400	外皮 2000, 3600					
		1500	2300	4500	4600	2700			2300	3100	5000	5200	3800	頭部 4400, 7300				
		1900	1900	2300	2400	2600			2500	2000	2300	2800	3000	内臓 4400, 8900				
		1900	1000	2200	2900	3100			2300	1600	2500	3700	1900	可食部 1800, 3100				
												第2濃度区						
												外皮 4800, 3000						
												頭部 6700, 5800						
												内臓 10000, 6900						
												可食部 2700, 2400						
審査部会		第66回 19年 7月 27日 開催										排泄試験 (半減期)						
判定結果												第1濃度区 2.6日						
備考		[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 3900倍 第2濃度区 2600倍					備考					第2濃度区 3.9日						
		[回収率] 試験水 96.5% 供試魚 93.1%					[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 4700倍 第2濃度区 2800倍											
		[定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 0.35 μg/L 第2濃度区 0.035μg/L 供試魚 280 ng/g					[回収率] 試験水 92.7% 供試魚 84.8%					[定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 0.32 μg/L 第2濃度区 0.032μg/L 供試魚 240 ng/g						
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構												[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構						

\*5 外皮重量が1.74gのときの算出可能な濃縮倍率。

K - 1 7 1 5 の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
クロロペンタブロモ シクロヘキサン (87-84-3)		3-2251 (K-802)	標準(4W)1986年実施 BOD 0, 0, 0 (0) G C 2, 0, 0 (1)	難分解性 (1986)	1986年実施 4.72 (フラスコ振とう法)	>50 (48hr)	1977年実施 ピーク A 1区(25 µg/L) : 102 ~ 844 2区(2.5µg/L) : 184 ~ 727 ピーク B 1区(25 µg/L) : 102 ~ 819 2区(2.5µg/L) : 197 ~ 644 ピーク C 1区(25 µg/L) : 76 ~ 534 2区(2.5µg/L) : 125 ~ 388 脂質含有率 4.7%	高濃縮性 ではない (1987)
1, 2, 5, 6 - テトラ ブロモシクロオクタン (3194-57-8)		3-2254 (K-1715)	標準(4W)2005年実施 BOD -16, 2, -1 (0)*1 G C 1, 0, 1 (1)	難分解性 (2005)	5.24*2	7.50 (96hr)	2007年実施 定常状態における濃縮倍率 ピーク 1 1区(10µg/L) : 3900 2区(1µg/L) : 2600 ピーク 2 1区(10µg/L) : 4700 2区(1µg/L) : 2800 脂質含有率 開始前 5.07% 終了後 5.09%	
1, 2, 5, 6, 9, 10 - ヘキサブロモシクロ ドデカン (3194-55-6)		3-2254 (K-1035)	標準(4W) 1990年実施 BOD 0, 0, 4 (1) ピークA HPLC 11, 0, 4 (5) ピークB HPLC 10, 4, 4 (6)  ・各ピークについて(HPLCによる) 分解度試験 濃縮度試験 ピークA ..... 成分A, B, C ピークB ..... 成分D, E	難分解性 (1990)	混合物のため 測定不可	>250*3 (48hr)	1990年実施 1回目(成分 B) 1区(120µg/L) : 146 ~ 453 2区(12µg/L) : 1370 ~ 3580 (成分 E) 1区(722 µg/L) : 23 ~ 85 2区(72.2µg/L) : 195 ~ 453 脂質含有率 3.8%  1995年実施 2回目(成分 B) 1区(24 µg/L) : 834 ~ 3070 2区(2.4µg/L) : 3390 ~ 16100 (成分 C) 1区(20.2µg/L) : 816 ~ 1780 2区(2.02µg/L) : 3350 ~ 8950 (成分 E) 1区(144 µg/L) : 118 ~ 418 2区(14.4µg/L) : 479 ~ 2030 脂質含有率 3.9% 3区(2µg/L) : 1760 ~ 3280 脂質含有率 3.5%	中濃縮性 (1992)  高濃縮性 (2001)

\*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。

\*2 Kowwin v 1.66 による計算値

\*3 入手試料として

整理番号 K-1754 (NEDO 325, 2-0061)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
1, 4-ジクロロブタン (110-56-5)		事業対象年度 平成17年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
		試験期間 17.10.14~18.1.5		試験期間 . . ~ . .		試験期間 . . ~ . .		
		試験装置 標・ <b>揮</b>		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		
構造式(示性式)・物理化学的性状  $\text{Cl}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Cl}$  分子式 $\text{C}_4\text{H}_8\text{Cl}_2$ 分子量 127.01		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接	BOD 7, 12, 3 (7)%	試験結果	間接		試験結果
直接	GC -1, 0, -1 (0)%		直接			直接		
純度*1 99.9%(毛管カラムGC)	外観 無色透明の液体							
不純物(物質名, 含有率) 水分 0.03% 酸(HClとして) 0.01%以下 残り 0.07%については不明	溶解度(対水, その他) 対水*2 $1.53 \times 10^4 \text{mg/L}$ 酢酸エチル 10 g/L以上	審査部会 第56回 18年 7月21日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
融点*2 -37.3°C		判定 難分解性		判定		判定		
沸点*2 161°C	1-オクタノール/水分分配係数 $\log \text{Pow} = 2.5$ (HPLC法)*3	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 91.4% (汚泥+被験物質)系 92.7% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・(水+被験物質)系における被験物質保持率 100% ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・揮発性が高いため、TOC分析は実施しなかった。				備考		
密度*1 1.142 g/mL(20°C)								
LD50	解離定数							
IRチャートの有無 <b>有</b> ・無	解離基なし							
用途								
生産量 (年)								
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

\*1 和光純薬工業添付資料による。 \*2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。

\*3 溶離液: アセトニトリル/精製水 (1/1 V/V)

濃縮度試験					事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験									
試験期間					18. 8. 14 ~ 18. 9. 25					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )						
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後			日後		日後			日後		日後		
第1	水槽濃度( )					第1		水槽濃度( )											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度( )					第2		水槽濃度( )											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度( )					第3		水槽濃度( )											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

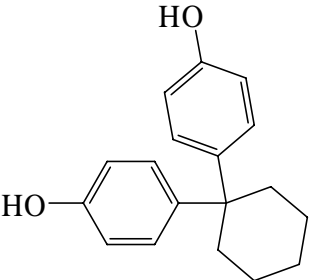
毒性試験	
依 頼	年月日
	経過



K - 1754の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ジクロロプロパン (78-87-5)	$\begin{array}{c} \text{CH}_3-\text{CH}-\text{CH}_2-\text{Cl} \\   \\ \text{Cl} \end{array}$	2-0081 (K-19)	標準(2W) 1974年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 0, 6 (3) G C 0, 0 (0)	保留	/	104 (48hr)	1979年実施 1区(0.4 mg/L) : 1.2~3.2 2区(0.04mg/L) : 0.5~6.9  脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1978)
			標準(2W) 1977年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 3, 0 (2) G C 4, 0 (2)	難分解性 (1978)				
1-クロロブタン (109-69-3)	$\text{CH}_3-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Cl}$	2-0060 (K-1007)	Closed bottle法(4W) (5.21mg/L) 1991年実施 BOD 0 G C 0	難分解性 (1991)	1991年実施 2.82 (フラスコ振とう法)	79.9 (48hr)	1991年実施 1区(0.5 mg/L) : 7.6~21 2区(0.05mg/L) : 11~17  脂質含有率 3.7%	高濃縮性 ではない (1991)
1,4-ジクロロ ブタン (110-56-5)	$\text{Cl}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Cl}$	2-0061 (K-1754)	標準(4W) 2006年実施 BOD 7, 12, 3 (7) G C -1, 0, -1 (0)*	難分解性 (2006)	2006年実施 2.5 (HPLC法)	/	分配係数から類推	

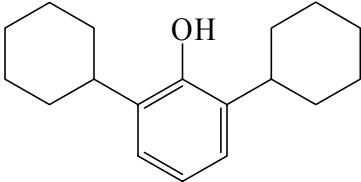
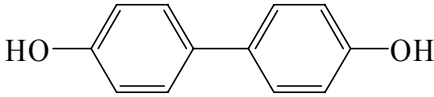
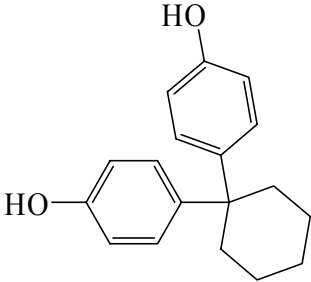
\* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

整理番号 K-1755 (NEDO 330, 4-0044)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
1,1-ビス(4-ヒドロキシフェニル)-シクロヘキサン		事業対象年度 平成17年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
(843-55-0)		試験期間 17. 7. 20~17. 10. 3		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>18</sub> H <sub>20</sub> O <sub>2</sub> 分子量 268.35		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接	BOD -1, 0, -2 (0)%	試験結果	間接		試験結果
直接	HPLC 1, 1, 3 (2)%		直接			直接		
純度*1 99.9%	外観 白色粉末	審査部会 第56回 18年 7月 21日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.1%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 5.61 mg/L (25°C) (フラスコ法) 対メタノール 10 g/L 以上 対酢酸エチル 10 g/L 以上	判定 難分解性		判定		判定		
融点*2 190~192°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 5.00*4	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 96.7% (汚泥+被験物質)系 98.5% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		備考		備考		
沸点 289.6°C (大気圧)								
比重*3 1.23~1.27								
LD50								
IRチャートの有無 (有) ・ 無								
用途*5 樹脂用老化防止剤 (天然ゴム、ジエン系合成ゴム用)								
生産量 (年)								
試料 購入先 Aldrich Chemical								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

\*1 Aldrich Chemical 添付資料による。 \*2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets(20004/10)による。 \*3 有機化合物辞典 (講談社) による。  
 \*4 Kowwin v 1.67 による計算値。 \*5 14705 の化学商品 (化学工業日報社) による。

濃縮度試験		事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験							毒性試験	
試験期間		18.10.16 ~ 19. 2. 9					試験期間		. . . ~ . . .					年月日	
試験装置 (標・揮)		LC50値 2.1 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)					試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )					依	
水槽設定濃度 (mg/L)							水槽設定濃度 ( )							頼	
		被験物質		分散剤					被験物質		分散剤			経過	
				2-メトキシ エタノール											
第1濃度区		0.01		25			第1濃度区								
第2濃度区		0.001		25			第2濃度区								
第3濃度区							第3濃度区								
濃縮倍率		脂質含有率		開始前 5.4% 終了後 5.1% 魚種(コイ)			濃縮倍率		脂質含有率		開始前 % 終了後 % 魚種( )				
		3日後		7日後		14日後		20日後		28日後					
第1		水槽濃度 (mg/L)		0.0108		0.0108		0.0110		0.0109		0.0109		第1	
		倍率		39		24		24		31		37		水槽濃度 ( )	
				35		31		29		22		34		第1	
														倍率	
第2		水槽濃度 (mg/L)		0.00107		0.00107		0.00108		0.00107		0.00107		第2	
		倍率		32		34		<36		<38		<32		水槽濃度 ( )	
				42		33		37		<38		39		第2	
														倍率	
第3		水槽濃度 ( )												第3	
		倍率												水槽濃度 ( )	
														第3	
														倍率	
審査部会		第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会		第 回 年 月 日 開催						
判定結果							判定結果								
備考		[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 29倍 [ばく露期間における濃縮倍率] 第2濃度区 <32~42倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 89.6% 試験水 第1濃度区 0.0005 mg/L 第2濃度区 0.00005mg/L 供試魚 87.0% 供試魚 0.033 µg/g [実施機関] 株式会社 三菱化学安全科学研究所					備考								

K - 1755の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC <sub>50</sub> mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2,6-ジシクロヘキシルフェノール (4821-19-6)		4-0042 (K-482)	標準(4W) 1980年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 1, 2, 5 (3)	難分解性 (1980)	1981年実施 >6.19 (HPLC法)	6.5 (48hr)	1981年実施 1区(150µg/L): 926 ~ 5960 2区(15µg/L): 167 ~ 1620  脂質含有率 4.8%  1981年実施 1区(15 µg/L): 919 ~ 3140 2区(1.5µg/L): 384 ~ 1170  脂質含有率 5.1%	中濃縮性 (1982)
4,4'-ジヒドロキシ ビフェニル (92-88-6)		4-0820 (K-1509)	標準(4W) 2000年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (2000)	2003年実施 2.75	15.8 (96hr)	2001年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(20µg/L): 16 2区(2µg/L): 26  脂質含有率 開始前 1.61% 終了後 2.28%	高濃縮性 ではない (2001)
1,1-ビス(4-ヒドロキシフェニル)- シクロヘキサン (843-55-0)		4-0044 (K-1755)	標準(4W) 2005年実施 BOD -1, 0, -2 (0)*1 HPLC 1, 1, 3 (2)	難分解性 (2006)	5.00*2	2.1 (96hr)	2006年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(0.01 mg/L): 29 ばく露期間における濃縮倍率 2区(0.001mg/L): <32 ~ 42  脂質含有率 開始前 5.4% 終了後 5.1%	

\*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

\*2 Kowwin v 1.67による計算値。

整理番号 K-1757 (NEDO 331, 4-0112)	分解度試験		3. 特記事項 ・ 試料の純度が低いため、TOD は組成式より算出した。 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。 ・ 被験物質は試験液中で一部加水分解し、複数の水溶性変化物（下記参照、HPLC 分析の溶出順に A-1, A-2, A-3, B-1, B-2, C-1, C-2, C-3, D-1, D-2 とした）を生成するが、いずれも残留する。また、HPLC クロマトグラム上の保持時間から、いずれの変化物も被験物質より極性が高く、後続試験は被験物質で実施した。
N, N, N', N'-テトラグリシジル-4,4'-ジアミノジフェニル	事業対象年度	平成17年度	被験物質の変化  被験物質 log Kow = 2.53*4 保持時間 45.2分*5 変化物 D-1, D-2 log Kow = 1.38*4 保持時間 38.3分*5 変化物 C-1, C-2, C-3 log Kow = -0.19*4 保持時間 33.5分*5 変化物 B-1, B-2 log Kow = -1.75*4 保持時間 9.4分*5 変化物 A-1, A-2, A-3 log Kow = -3.31*4 保持時間 4.2分*5
メタン (28768-32-3)	試験期間	17.11. 1~18. 3. 2	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C <sub>25</sub> H <sub>30</sub> N <sub>2</sub> O <sub>4</sub> 分子量 422.52 組成式 C <sub>24.7</sub> H <sub>30.1</sub> N <sub>2.00</sub> O <sub>4.11</sub> (元素分析による)	試験装置	① ・ 揮	
	試験濃度	有機物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L	
純度*1 90.5%	外観	淡黄色粘性液体	
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 9.5%は不明	溶解度 (対水, その他)	対水 8.72 mg/L (25°C) 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対酢酸エチル 10 g/L 以上	
融点 -19.3°C	1-オクタノール/水分配係数	log Pow = 3.0 (HPLC法)*3	
沸点 測定不可 (240°C付近で淡褐色に変化)	安定性	水中で加水分解する	
密度*2 1.15 g/cm <sup>3</sup> (25°C)	解離定数	pKa <sub>1</sub> = 2.12 pKa <sub>2</sub> = 3.10	
LD50	IRチャートの有無	① ・ 無	
用途	試験結果	間接 BOD -8, -10, -10 (0)% 直接 HPLC 73, 68, 59 (66)%	
生産量 (年)	審査部会	第56回 18年 7月21日開催	
試料 購入先 Aldrich Chemical	判定	難分解性	
経済産業公報発表年月日	備考	1. 回収率 (水 + 被験物質) 系 97.2% (汚泥 + 被験物質) 系 97.4% 2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	

\*1 HPLCによる。 \*2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheetによる。 \*3 溶離液：メタノール/pH7.0緩衝液 (65/35 V/V)

\*4 Kowwin v 1.67による計算値。 \*5 HPLCクロマトグラムの保持時間

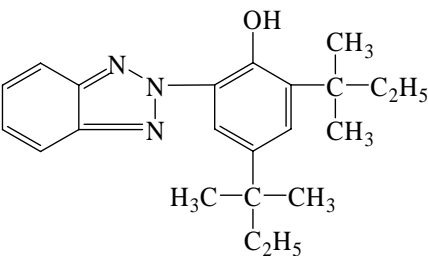
濃縮度試験					事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験									
試験期間					18.12.15 ~ 19.1.10					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )						
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後			日後		日後			日後		日後		
第1	水槽濃度( )					第1		水槽濃度( )											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度( )					第2		水槽濃度( )											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度( )					第3		水槽濃度( )											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験	
依 頼	年月日
	経過

K-1757の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
<i>N, N</i> -(ジグリシジル)アニリン (2095-06-9)		3-0174 (K-698)	標準(4W) 1985年実施 BOD 0, 8, 1 (3) TOC 2, 4, 1 (2) U V(249nm) 9, 16, 8 (11)  (水中で <i>N, N</i> -ビス(2, 3-ジ ヒドロキシプロピル)アニリンに 変化する。)	難分解性 (1985)	1.25*3	/	<i>N, N</i> -(ジグリシジル) - <i>o</i> -トルイジンから類推	高濃縮性 ではない (1985)
<i>N, N</i> -(ジグリシジル) - <i>o</i> -トルイジン (40027-50-7)		3-0236 (K-701)	標準(4W) 1984年実施 BOD 2, 3, 2 (2) TOC 2, 5, 1 (3) HPLC*1 8, 11, 9 (9)  (水中で加水分解し、 <i>N, N</i> -ビス(2, 3-ジヒドロキシプロピル)- <i>o</i> -ト ルイジンとなることが確認された。)	難分解性 (1984)	1.80*3	/	変化物である <i>N, N</i> -ビス(2, 3-ジヒドロキシプロピル)- <i>o</i> -トルイ ジンから類推	高濃縮性 ではない (1985)
<i>N, N</i> -ビス(2, 3- ジヒドロキシプロピ ル)- <i>o</i> -トルイジン		3-0233 (K-701 変化物)	/	/	1985年実施 0.14 (フラスコ 振とう法)	>500 (48hr)	1985年実施 ピーク A 1区(1 mg/L) : <0.7~1.0 2区(0.1mg/L) : <7.2~33 ピーク B 1区(1 mg/L) : <0.2~0.4 2区(0.1mg/L) : <1.9 脂質含有率 4.0%	高濃縮性 ではない (1985)
<i>N, N, N', N'</i> -テトラ グリシジル-4, 4'- ジアミノジフェニル メタン (28768-32-3)		4-0112 (K-1757)	標準(4W) 2005年実施 BOD -8, -10, -10 (0)*2 HPLC 73, 68, 59 (66)  (水中で加水分解し、エポキシ環が 開環した。)	難分解性 (2006)	2006年実施 3.0*4 (HPLC法)	/	分配係数から類推	

\*1 加水分解生成物としての分解度。 \*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 \*3 Kowwin v 1.67による計算値。  
\*4 溶離液：メタノール/pH7.0緩衝液(65/35 V/V)

整理番号 K-1766 (NEDO 340, 5-3604)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-	事業対象年度	契約年月日	契約年月日
ペンチルフェノール (25973-55-1)	試験期間	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>22</sub> H <sub>29</sub> N <sub>3</sub> O      分子量 351.49	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接	試験結果 間接	試験結果 間接
試験結果 直接	試験結果 直接	試験結果 直接	
純度*1 99.8% (HPLC)	外観 淡黄色粉末		
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.2%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 0.0163μg/L (25°C) (カラム溶出法) 対N,N-ジメチルホルムアミド 10g/L以上 対クロロホルム 10g/L以上 対テトラヒドロフラン 10g/L以上	審査部会 第49回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 77~79°C		判定 難分解性	判定
沸点	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 7.25*3	備考 分解度試験及び物理化学的性状のデータの一部については、 企業提供データのため、非公開。	
密度 1.180 g/cm <sup>3</sup> (20°C)			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

\*1 和光純薬工業添付資料による。

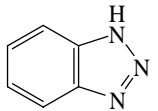
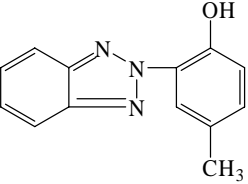
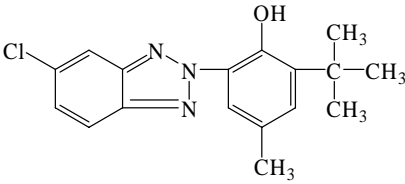
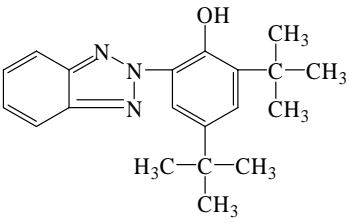
\*2 Seino, Shuichi; US 4835284 A 1989 CAPLUSによる。

\*3 Kowwin v 1.67による計算値。



濃縮度試験 事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験 事業対象年度 平成17年度					備考	毒性試験			
試験期間					試験期間 17.12.5 ~ 18.4.19						依 頼	年月日		
試験装置 標・揮		LC50値			試験装置 (標)・揮		LC50値 >5.00 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)			部位別試験(濃縮倍率) 第1濃度区 外皮 頭部 内臓 可食部 第2濃度区 外皮 頭部 内臓 可食部 第3濃度区 外皮 2300, 3100 頭部 3700, 5800 内臓 14000, 15000 可食部 1600, 1800  排泄試験(半減期) 第1濃度区 第2濃度区 第3濃度区 27日  脂質含有率(%) 第3濃度区 13日後 2.93, 2.78 26日後 3.09, 2.83 40日後 3.99, 3.08 50日後 3.48, 3.34 60日後 3.52, 2.93		経過		
水槽設定濃度 (µg/L)					水槽設定濃度 (µg/L)									
	被験物質	分散剤				被験物質	分散剤							
		HCO-40					HCO-40	N,N-ジメチルホルムア						
第1濃度区					第3濃度区	0.01	0.01	20000						
第2濃度区														
第3濃度区														
濃縮倍率 脂質含有率 % 魚種( )					濃縮倍率 脂質含有率 開始前 2.38% 終了後 4.14% 魚種(コイ)									
		2週	4週	6週	8週		13日後	26日後	40日後	50日後	60日後			
第1	水槽濃度(µg/L)					第3	水槽濃度(µg/L)	0.00936	0.00962	0.00963	0.00907	0.00874		
	倍率						倍率	1400	1400	2600	2000	2700		
第2	水槽濃度(µg/L)													
	倍率													
第3	水槽濃度( )													
	倍率													
審査部会 第49回 17年 11月 18日 開催					審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催									
判定結果 保留					判定結果									
備考 本濃縮度試験のデータについては、企業提供データのため非公開					備考 [定常状態における濃縮倍率] 第3濃度区 2400倍  [回収率] [定量下限濃度] 試験水 98.1% 試験水 第3濃度区 0.00081 µg/L 供試魚 84.5% 供試魚 4.5 ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構									

濃縮度試験					事業対象年度					平成18年度					濃縮度試験					濃縮度試験					備考					毒性試験																																							
試験期間					18. 6. 23 ~ 19. 1. 9					試験期間					. . . ~ . . .					部位別試験 (濃縮倍率) 第1濃度区 外皮 770, 940 頭部 1400, 1600 内臓 2300, 3600 可食部 600, 620 第2濃度区 外皮 900, 2000 頭部 990, 2300 内臓 15000, 36000 可食部 420, 840					依 頼 年 月 日					経過																																							
試験装置 (標・揮)					LC50値 >5.00 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr)魚種( )																																																						
水槽設定濃度 (μg/L)										水槽設定濃度 ( )										排泄試験 (半減期) 第1濃度区 33日 第2濃度区 16日																																																	
被験物質					分散剤					被験物質					分散剤																																																						
					HCO-40										N,N-ジメチルホルムア																																																						
第1濃度区					0.1					0.1					20000																				第1濃度区																																		
第2濃度区					0.01					0.01					20000																				第2濃度区																																		
第3濃度区																																			第3濃度区																																		
濃縮倍率					脂質含有率 開始前 3.75% 終了後 4.62% 魚種(コイ)					濃縮倍率					脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種( )																																																						
					12日後					26日後					40日後																				50日後					60日後																													
第1					水槽濃度 (μg/L)					0.100					0.103																				0.103					0.103					0.102					第1					水槽濃度 ( )														
					倍率					870					1100																				990					820					1000																								
					570					1400					780					1000					1000																																												
第2					水槽濃度 (μg/L)					0.00887					0.00941					0.00923					0.0101					0.0102					第2					水槽濃度 ( )																													
					倍率					620					890					1500					1300					1000																																							
					650					1300					1800					980					1700																																												
第3					水槽濃度 ( )																									第3					水槽濃度 ( )																																		
					倍率																																																																
審査部会					第66回					19年					7月					27日					開催					審査部会					第					回					年					月					日					開催									
判定結果																														判定結果																																							
備考					[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 940倍 [ばく露期間における濃縮倍率] 第2濃度区 620~1800倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 91.9% 試験水 第1濃度区 0.0082 μg/L 第2濃度区 93.2% 第2濃度区 0.00081 μg/L 供試魚 87.0% 供試魚 4.4 ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																																																																

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
1, 2, 3-ベンゾトリア ゾール (95-14-7)		5-0537 (K-1340)	標準(4W) 1996年実施 BOD 2, 0, 3 (2) TOC 0, 2, 2 (1) HPLC 1, 0, 0 (0)	難分解性 (1996)	1997年実施 不適切な程度 に解離 [フラスコ振 とう法によ る参考値 1.40]	291 (48hr)	1997年実施 1区(1 mg/L) : 1.1~3.0 2区(0.1mg/L) : <4.8~15 脂質含有率 4.5%	高濃縮性 ではない (1997)
2-(2'-ヒドロキシ-5'- メチルフェニル)ベンゾトリア ゾール (2440-22-4)		5-0544 (K-1341)	標準(4W) 1996年実施 BOD 0, 3, 0 (1) HPLC 0, 1, 4 (2)	難分解性 (1996)	1998年実施 4.48	>200 (48hr)	1998年実施 1区(1000µg/L) : 123~494 2区(100µg/L) : 130~295 3区(10µg/L) : 44~220 脂質含有率 第1及び第2濃度区 3.6% 第3濃度区 4.0%	高濃縮性 ではない (1998)
2-(2'-ヒドロキシ- 3'-tert-ブチル-5'- メチルフェニル)-5- クロロベンゾトリアゾール (3896-11-5)		5-0545 (K-1342)	標準(4W) 1996年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (1996)	1998年実施 >5.01	>65.0 (48hr)	1998年実施 1区(500µg/L) : 54~109 2区(50µg/L) : 196~802 3区(5µg/L) : 548~895 脂質含有率 第1及び第2濃度区 3.8% 第3濃度区 3.7%	高濃縮性 ではない (1998)
2-(2'-ヒドロキシ- 3',5'-ジ-tert-ブチ ルフェニル)ベンゾトリア ゾール (3846-71-7)		5-3604 5-3580 (K-1352)	標準(4W) 1996年実施 BOD 1, 0, 0 (0) HPLC 0, 0, 1 (0)	難分解性 (1997)	1998年実施 >5.50	>500 (48hr)	1998年実施 1区(10 µg/L) : 365~ 2250 2区(1 µg/L) : 1380~ 8180 3区(0.1µg/L) : 2960~10000 脂質含有率 第1及び第2濃度区 3.7% 第3濃度区 3.6%	高濃縮性 (1998)

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2-(3,5-ジ-tert-ブチル-2-ヒドロキシフェニル)-5-クロロベンゾトリアゾール (3864-99-1)		5-3581 (K-334)	標準(2W) 1977年実施 BOD 0, 0 (0) G C 2, 0 (1)	難分解性 (1977)	6.91*	94 (48hr)	1977年実施 1区(400µg/L) : <0.4~12.2 2区(40µg/L) : <4 ~15.9 脂質含有率 —	高濃縮性 ではない (1978)
						>25.0 (96hr)	2002年実施 定常状態における濃縮倍率 3区(1 µg/L) : 900 4区(0.1µg/L) : 4700 脂質含有率 開始前 3.27% 終了後 4.21%	保留 (2002)
							2003年実施 定常状態における濃縮倍率 4区(0.1 µg/L) : 7600 5区(0.01µg/L) : 6500 脂質含有率 開始前 4.22% 終了後 4.39%	高濃縮性 (2003)
2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4-(tert-ブチル)-6-(sec-ブチル)フェノール (36437-37-3)		5-3604 (K-1767)	試験結果については、企業 提供データのため非公開	難分解性 (2005)	6.31*		2001年実施(非公開) 1区(1 µg/L) : 2区(0.1µg/L) : 脂質含有率 開始前 終了後	高濃縮性 (2005)
2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ペンチルフェノール (25973-55-1)		5-3604 (K-1766)	試験結果については、企業 提供データのため非公開	難分解性 (2005)	7.25*		2000年実施(非公開) 1区(1 µg/L) : 2区(0.1µg/L) : 脂質含有率	保留 (2005)
						>5.00 (96hr)	2006年実施 定常状態における濃縮倍率 3区(0.01µg/L) : 2400 脂質含有率 開始前 2.38% 終了後 4.14%	
							2006年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(0.1 µg/L) : 940 ばく露期間における濃縮倍率 1区(0.1 µg/L) : 570~1400 2区(0.01µg/L) : 620~1800 脂質含有率 開始前 3.75% 終了後 4.62%	

\* Kowwin v 1.67 による計算値。